

## 【別紙】

# 2020年度 事業報告書

2020年4月1日から 2021年3月31日まで

特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所

## 1 事業の成果

2012年10月10日の開館以降、2021年3月31日時点では65,479名が訪れている。2020年度は、3,491名にご来館いただいた。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大による全館休館や時間短縮営業など営業自体が非常に制限された1年であった。

これまでのように集客型の講座やイベントの実施は思うように開催できなかつたが、補助金の活用で、オンライン会議システムを構築することができ、8月以降はこのシステムを活用し、講座の再開、オンラインイベントを開催した。（オンラインでの講義、イベント参加者は入館者数に含めていない）

結果、これまで参加が難しかつた遠方住者も、講座やイベント参加が可能になり、利用者には非常に喜ばれた。

2020年度は休館時期が長かつたが、この期間を利用し、中村博士の書籍以外の資料の整理に時間をかけて取り組むことができた。

今回の調査で発見された貴重資料もあり、今後さらに調査を進め、公開していきたい。

松江市からの受託事業である中村博士の蔵書整理事業についても、3,368点の資料を登録でき、当初の目標を達成できた。

また、2020年4月1日から認定NPOの資格を取得し、税制上の優遇措置についてご支援者に周知を図り、支援の輪を広げることができたことも大きな成果である。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施事業の 日時・場所、 従事者の人数	受益対象者 の範囲 及び、人 数、評価	事業費の 金額 (単位：千円)
故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	1. 中村元博士蔵書整理事業 2. 中村元記念館管理・運営		別紙参照	15,008
東洋思想・文化に 係る研究、講座、イ ベントなどの実施	1. 中村元記念館各種講座の 運営 2. 研究員による研究活動 3. 企画展 4. 中村元東洋思想文化賞 5. 大学連携事業		別紙参照	2,118
東洋思想・文化の 普及、啓発のため の出版及び広報事 業	1. 記念館通信の発行 2. 博物館/施設との連携 3. メディア対応 4. その他広報活動 5. ミュージアムショップ運 営		別紙参照	150
国際文化交流事業	1. アジア文化紹介事業		別紙参照	10
地域の文化、経済、 観光、人づくりを 推進するために必 要な事業	1. 地域・行政との交流事業 2. 子ども教育事業 4. 旧八束教員住宅(通称) 「はじめハウス」の利活用		別紙参照	30

### 3 会議に関する事項

#### (1) 理事会

##### ◆理事会（開催年月日 2020年5月23日）

開催場所 中村元記念館 研究室

出席者数 12名（うち表決委任者 9名）／理事人数 13名

##### 議決事項の概要

- ・2019年度 事業報告に関する件
- ・2019年度 決算報告 および 監査報告に関する件
- ・2020年度 事業計画（案）に関する件
- ・2020年度 予算（案）に関する件
- ・定款の変更について
- ・会員の入会金・年会費について
- ・役員報酬規程・役員旅費規程の制定及び役員報酬支給額について
- ・友の会について
- ・その他報告事項

#### (2) 総会

##### ◆総会（開催年月日 2020年5月28日）

開催場所 中村元記念館 研究室

出席者数 16名（うち表決委任者 12名）／正会員数 19名

##### 議決事項の概要

- ・2019年度 事業報告に関する件
- ・2019年度 決算報告 および 監査報告に関する件
- ・2020年度 事業計画に関する件
- ・2020年度 予算に関する件
- ・定款の変更について
- ・会員の入会金・年会費について
- ・役員報酬規程・役員旅費規程の制定及び役員報酬支給額について
- ・友の会について
- ・その他報告事項

特定非営利活動法人  
中村元記念館東洋思想文化研究所

2020 年度 事業報告書



# 内容

I	入館者数	1
II	個別事業報告	2
	(1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営	2
	1. 中村元博士蔵書整理事業(松江市より受託)	2
	2. 中村元記念館管理・運営事業	3
	(2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施	4
	1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)	4
	2. 研究員による研究活動	4
	3. 企画展	5
	4. 中村元東洋思想文化賞	6
	5. 大学連携事業	7
	(3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業	7
	1. 記念館通信の発行	7
	2. 博物館/施設との連携	7
	3. メディア対応	8
	4. その他広報活動	9
	5. ミュージアムショップ運営	9
	(4) 国際文化交流事業	10
	1. アジア文化紹介事業	10
	(5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業	10
	1. 中村元記念館友の会の会員募集・会員特典の提供	10
	2. 地域・行政との交流事業	10
	3. 子ども教育事業	11
	4. 旧八束教員住宅(通称「はじめハウス」)の利活用	11

## I 入館者数

2012年10月10日の開館以降、2021年3月31日時点で延べ65,479名が訪れている。2020年度は、3,491名にご来館いただいた。

4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全館休館したが、6月からは、館内の消毒作業を徹底し、コロナウイルス感染防止対策を十分に行なったうえで再開した。（消毒作業のため1時間の時短営業を行った）

8月以降は、コロナ関連の補助金の活用で、オンラインによる講義を開始した。（オンラインでの講義、イベント参加者は入館者数に含めていない）

1月は、空調設備工事が行われ、1か月休館。この間蔵書整理作業、図書以外の資料の整理作業を進めた。

2020年度は休館期間が長く、また開館後も新型コロナウイルス感染拡大の影響で入館者数が伸びず入館者数は前年度比56%であった。

月別入館者数

月	2019年度 入館者数（人）	2020年度 入館者数（人）	対前年比（%）
4月	1,667	0	0
5月	559	0	0
6月	680	411	60
7月	643	366	57
8月	402	355	88
9月	187	343	183
10月	522	391	75
11月	402	524	130
12月	474	380	80
1月	261	20	8
2月	310	282	91
3月	83	419	505
合計	6,190	3,491	56.
月平均	516	291	
累計	61,988	65,479	

## II 個別事業報告

### (1) 故中村元博士の蔵書の管理及び中村元記念館の管理と運営

#### 1. 中村元博士蔵書整理事業(松江市より受託)

事業の目的	松江市から委託された中村元博士の蔵書を整理・公開することで、松江市の歴史的財産として保存するとともに、研究者の利用のみならず、一般の来館者の皆様にも広く観覧していただく。
実施期間・人数	通年
実施人数	職員:5名、ボランティア のべ37名
事業内容	<p>■蔵書整理・登録</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成26年度に導入した図書管理ソフトGANGAとNACSIS接続ソフトMILAGROにより、国立情報学研究所が運営する総合目録データベース(NACSIS-CAT)を利用し、自館とNACSIS-CATへの登録を実施。</li><li>2020年度は、図書1,321冊、雑誌2,047冊、合計3,368冊の登録を完了した。(通算登録冊数:19,890冊)。 (*中村博士の蔵書における雑誌とは、一般雑誌の他に大学専門機関等の研究紀要などの定期刊行物を数多く含む。)</li><li>2020年度からは、MILAGRO2020CATを導入し、これにより、世界各国の図書データベースへのアクセスが可能になり、外国語書籍の登録作業の効率化につながっている。</li></ul> <p>■蔵書の公開</p> <ul style="list-style-type: none"><li>記念館のOPAC(オンライン蔵書検索システム)登録による公開と、常設展示、企画展等で順次公開。</li></ul> <p>■資料保全作業</p> <ul style="list-style-type: none"><li>中村博士の蔵書・原稿は、記念館スタッフの他、外部ボランティアの協力なども得ながら、1冊ずつ手作業で丁寧にクリーニング作業を行っている。2020年度は、図書以外の資料(日記、原稿、メモ、写真、書簡など)の適切な保存のため中性紙専用保存箱への入れ替え作業を進めた。温湿度管理を意識し、よりよい環境での保存を目指している。</li></ul> <p>* 資料燻蒸: 出雲歴史博物館へ依頼 (6月)</p>

## 2. 中村元記念館管理・運営事業

<b>事業の目的</b>	中村元博士の業績を広く一般の人に顕彰する。 記念館運営を滞りなく行うための事業。
<b>実施期間・人数</b>	通年
<b>実施人数</b>	職員・スタッフ:9名(通年)、
<b>事業内容</b>	<p>■団体見学 2020年度はコロナウイルス感染防止のため、団体見学は行わなかった。</p> <p>■各種研修参加</p> <p>①専門員相談 NPO会計について 6月26日(松江テルサ) 職員2名</p> <p>②ZOOMの使い方研修 7月27日 松江テルサ 職員2名</p> <p>③労働基準法の説明 8月20日 記念館 職員1名</p> <p>④NACSIS CAT研修(蔵書検索システム) 11月5日 職員2名</p> <p>⑤オンラインセミナー研修(ZOOM活用事例など) 11月9日 職員4名</p> <p>⑥NPO会計研修(オンラインセミナー) 12月10日 職員2名</p> <p>⑦NPO事務研修(松江テルサ) 1月29日 職員2名</p> <p>■消防・避難訓練 10月22日(合同避難訓練)職員4名</p> <p>■防犯カメラ更新設置 7月6日</p>

## (2) 東洋思想・文化に関わる研究、講座、イベント等の実施

### 1. 中村元記念館各種講座の運営(東方学院松江校 中村元記念館文化講座)

<b>事業の目的</b>	「東洋思想の世界的権威」である中村元博士の私塾「東方学院」の理念を継承すべく「東方学院松江校」・「中村元記念館文化講座」を開講する
<b>実施期間・人数</b>	2020年4月1日～2021年3月31日
<b>実施人数</b>	職員:5名(通年) 講師:17名
<b>事業内容</b>	<p>■ 今年度の講義は当初東方学院松江校、中村元記念館文化講座を合わせて23講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため8月までの講座をすべて中止・延期、また9月以降も、感染拡大地域在住講師の講座もオンライン講義以外は中止・延期とした。</p> <p>〈開催講座数〉 (講義回数減の講義も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東方学院松江校 15講座</li><li>・中村元記念館文化講座 2講座</li></ul> <p>*のべ受講申込者数:103名</p> <p>■ オンライン講座の開始</p> <p>島根県より「持続可能な社会貢献活動支援事業費補助金」の助成を受け、オンライン会議システム機材、Wifi環境などを整備することができ、新型コロナウイルス感染拡大により断念した遠隔地在住講師による講義を行うことができた。</p> <p>来年度は、遠隔地在住の受講生のオンライン参加も広めていきたい。</p>

### 2. 研究員による研究活動

<b>事業の目的</b>	中村元記念館東洋思想文化研究所研究員:9名。 故中村元博士が開拓された学問の道を探求し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的として、研究活動を行っている
<b>実施期間・人数</b>	通年
<b>実施人数</b>	研究員 9名
<b>事業内容</b>	■ 研究活動報告の場として、所属研究員による「中村元思想文化カフェ」を実施した。

	<p>◆第 16 回 思想文化カフェ(オンライン・記念館会場)  2021 年 2 月 27 日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『ペレのあたらしいふく』とエルサ・ベスコフの子ども観  岡 宏(中村元記念館東洋思想文化研究所)</li> <li>・ZOOM の基本操作研修会</li> </ul> <p>参加者人数:20 名 職員 4 名</p> <p>■記念館通信への研究員による寄稿 1 回</p> <p>■研究員による書籍発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浅川滋男 編  『チベット仏教求法僧 能海寛と宇内一統宗教  —明治の国粹とグローバリズム—』 同成社 2021</li> <li>・能海寛研究会 岡崎秀紀  『チベット仏教求法僧 能海寛とともに歩んだ 25 年  — 能海寛研究会創立 25 周年記念  機関誌『石峰』収録論文集—』 2020</li> </ul>
--	--

### 3. 企画展

<b>事業の目的</b>	中村博士と縁の深いインドについての展示を行った。 博士の蔵書、収蔵品などを図書室ミニ展示として親しみやすく展示した。 地域の人たちによる絵画や写真展示を行った。
<b>実施期間・人数</b>	下記のとおり
<b>実施人数</b>	職員 5 名 ボランティア 2 名
<b>事業内容</b>	<p>① インド聖地巡礼の旅 ~籠博道作品展 第 2 弹~  2018 年に開催し好評を得た水彩スケッチ展の第 2 弹 (後期)  を行った。</p> <p>期間 : 2020 年 6 月 9 日～2020 年 8 月 2 日</p> <p>② 写真展 「松江の白鳥 by ninjin」  松江在住アマチュア写真家 ninjin 氏撮影の白鳥の写真を展示。  期間 : 2020 年 8 月 5 日～12 月 27 日</p>

	<p>③ 写真展「ゴーダマ・ブッダ聖地巡礼の旅」      — 中村元記念館研修旅行の思い出 —      期間：2021年2月2日～4月18日</p> <p>④ 「中村元博士のインド旅行～中村元記念館収蔵品より～」      期間：2021年3月20日～      中村元博士の資料の中から初めてインドを旅した1952年の日記、1951年に取得した最初のパスポートや博士の旅行調査を基に書かれた著書（中村元博士蔵書）を展示。</p> <p>＜図書室ミニ展示＞      図書室ミニ展示 No. 7：近藤丸 作      「苦労して作った書類のデータが消えた時      立ち上がる勇気をくれた話」1関連展示      期間：2020年8月29日～</p>
--	--

#### 4. 中村元東洋思想文化賞

<b>事業の目的</b>	連携大学を含む全国の国公立大学及び私立大学100校を対象に、大学生・大学院生の優れた論文を広く顕彰し今後の研究を奨励することを目的とする。
<b>実施期間・人数</b>	授賞式 2020年10月31日
<b>実施人数</b>	職員・スタッフ 8名ほか
<b>事業内容</b>	<p>東洋思想を学ぶ学生による学士論文、修士論文を表彰した。授賞式は松江市能海副市長ご臨席の元、優秀賞、奨励賞を授与し、賞状と盾、学術奨励金の他に記念品が贈られた。</p> <p>今年度は、コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの授賞式開催となつた。海外からの視聴や、受賞者の大学関係者の視聴も増加し、今後も授賞式の開催方法としてこの方法を採用していきたい。</p> <p>・優秀賞： 北海道大学 大学院 熊 征      「六朝期における陶淵明評價 —『古今隱逸詩人の宗』をめぐって」</p> <p>・奨励賞： 立正大学 石井 阜晶      「近代知識人の日蓮觀 —姉崎正治を中心に—」</p> <p>授賞式のあとには、熊 征 氏(優秀賞)による特別講演がおこなわれた。</p>

## 5. 大学連携事業

<b>事業の目的</b>	インド哲学や仏教学を学べる大学や、近隣の大学、大学院と連携することで、高等教育の場で、記念館の活用をしていただくことを目的とする
<b>実施期間・人数</b>	通年
<b>実施人数</b>	職員 スタッフ 8名 連携大学
<b>事業内容</b>	■島根大学法文学部 佐々木ゼミ学生 12名見学 日程:2020年12月9日 ■連携大学の事業紹介を行った(ポスター掲示、パンフレット、チラシの配架など)
<b>連携先</b>	大正大学、立正大学、佛教大学、島根大学、島根県立大学、 東京大学(インド哲学仏教学研究室)、 東洋大学、武藏野大学、 龍谷大学、大谷大学、

### (3) 東洋思想・文化の普及、啓発のための出版及び広報事業

#### 1. 記念館通信の発行

<b>事業の目的</b>	中村博士の業績や、中村元記念館の活動を記念館関係者の方々、また広く一般の方々にお知らせすることを目的とする。
<b>実施期間・人数</b>	2021年3月(15号)発行 職員・スタッフ 8名
<b>事業内容</b>	■第15号 5000部発行 内容:認定NPO法人になりました、オンライン事業紹介(講座、文化賞授賞式)、研究員コーナー、学芸員紹介、事業報告など

#### 2. 博物館/施設との連携

<b>事業の目的</b>	広く全国の方へ東洋思想・哲学を普及するため、哲学者を顕彰する全国の施設と連携し普及活動を推進。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 5名
<b>事業内容</b>	■連携協定を結んでいる「史跡足利学校」ほか、石川県金沢市「鈴木大拙館」、石川県かほく市「石川県西田幾多郎哲学館」をはじめ、古代出雲歴史博物館など近隣の博物館や美術館などとはパンフレット・ポスターの掲示など広報についての連携を継続中。

### 3. メディア対応

事業の目的	中村元博士、記念館の紹介、博士の業績の顕彰などのため、各種媒体、メディアへの取材対応、記事掲載依頼を行った。
実施期間・人数	通年 職員・スタッフ 8名
事業内容	<p>① 新聞記事掲載（「慈しみの心」除く 37回）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰中央新報『第1面 「慈しみの心」毎日掲載</li> <li>・山陰中央新報 情報BOX 企画展・イベント情報掲載</li> <li>・りびえーる（山陰中央新報）企画展情報掲載</li> <li>・山陰中央新報 十周年へ施設充実誓う（清水谷善圭さん）2020.4.27</li> <li>・読売新聞 インドの仏像と日常描く（籠博道作品展第2弾「スケッチと水彩で描く インド聖地巡礼の旅」後期）2020.7.26</li> <li>・山陰中央新報 優雅 躍動 白鳥の一瞬 松江 中村元記念館で写真展 2020.10.21</li> <li>・山陰中央新報 中村元東洋思想文化賞 優秀賞に熊さん 詩人・陶淵明研究を評価 2020.11.1</li> <li>・山陰中央新報 「中村元 慈しみの心」連載 5周年に寄せて 前田 専學 2020.11.1</li> <li>・山陰中央新報 圏域発展 並河勉氏しのぶ 2020.11.7</li> <li>・山陰中央新報 こだま 「慈しみの心」貼り続け5年（読者のひろば投稿） 2020.23</li> <li>・山陰中央新報 文化 「東方学院松江校」4月開講 受講生募集 2021.3.29</li> </ul> <p>② 曹洞宗総合研究センター『たいまつ通信』109号（2020.5.10発行）112号（2020.11.10）</p> <p>③ 八束公民館だより</p> <p>6月号 2020年6月第158号 『コロナ禍ガンバレ！！学生・生徒・児童たち』  「中村元のことば」 一年おくれたとて 一生に関係はしない</p> <p>9月号 2020年9月 第161号 イベント情報  【お知らせ】中村元記念館「松江の白鳥」by ninjin</p> <p>1月号 2021年1月 第165号  中村元記念館休館のお知らせ</p> <p>3月号 2020年3月 第167号  中村元記念館よりお知らせ 「ゴータマ・ブッダ聖地巡礼の旅」写真展  八束のひろば 八束公民館報第19号（2020年4月号）、第20号（2020年8月号）、第21号（2020年12月号）</p> <p>中村元博士が残した『慈しみあふれる言葉』を紹介します①～③</p>

#### 4. その他広報活動

<b>事業の目的</b>	中村元記念館及び東洋思想に興味を持つていただきため、チラシやパンフレットだけでなく、ホームページやブログ、フェイスブックなど様々な媒体を通じて情報発信を行った。 また、より多くの方に情報発信を行うため新しくTwitterを開設した。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 5名
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・記念館紹介パンフレットの配布(約300部)</li><li>・ご支援のお願いのパンフレット配布(約1000部)</li><li>・ホームページの運営(講座・イベント情報等適宜発信中)</li><li>・メールマガジンの発行 No87～No114(27回)</li><li>・フェイスブックの運営(38回更新)</li><li>・ブログの運営(33回更新)</li><li>・島根いきいき広場(2回:イベント情報掲載)</li><li>・中海テレビ放送 みんなの伝言板 1回配信</li><li>・Twitter配信(17回)</li></ul>

#### 5. ミュージアムショップ運営

<b>事業の目的</b>	一般書店では手に入りにくい中村元博士の著作、東洋思想、仏教関連書籍など、専門書籍を幅広く取りそろえ、来館者の知へのニーズを満たす。 記念館オリジナルのお土産品の提供による、来館者満足度の向上。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 5名
<b>販売グッズ</b>	哲学、東洋思想などの専門書籍を充実させた。 出版社の協力もあり、現在、CDやDVDなど映像資料なども併せると約400種に迫る品揃えとなっている。 ポップや、陳列方法など、購買意欲をそそるよう工夫した。

#### (4) 国際文化交流事業

##### 1. アジア文化紹介事業

<b>事業の目的</b>	中村元記念館の認知度向上や、新規来館者の獲得を目的とし、広く一般の方を対象に中村元博士が研究されたアジア地域について紹介し、文化的な交流を促進する。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 5名
<b>事業内容</b>	<p>(1) ぼたん祭ステージイベント 新型コロナウイルス感染防止のため 2020 年度は祭りが中止となった。</p> <p>(2) 2022 年 8 月はインド独立 75 周年にあたるため、これに向けて インド総領事とイベント開催にむけてオンライン協議を行った。 (継続中)</p>

#### (5) 地域の文化、経済、観光、人づくりを推進するために必要な事業

##### 1. 中村元記念館友の会の会員募集・会員特典の提供

<b>事業の目的</b>	記念館の理念に共感される方々に「中村元記念館友の会」に加入していただき、運営をご支援いただくとともに、中村元博士の業績、東洋思想及び当館の活動に対する理解を一層深めていただく。
<b>実施期間・人数</b>	通年
<b>事業内容</b>	中村元博士の蔵書整理・公開、東方学院松江校の運営など、当館の活動に対して共感・協力していただける方を対象に、「中村元記念館友の会」に加入していただく。 ・会費 2,000 円/年 ・2020 年度会員 16 名

##### 2. 地域・行政との交流事業

<b>事業の目的</b>	行政、民間、地元八束町の要望に沿った交流事業を実施し、中村元と記念館を知っていただく契機とする。
<b>事業内容</b>	■2020 年 10 月 14 日: 第 8 回中村元記念杯八束町、世代間交流 GG 大会の開催協力 八束町グラウンド・ゴルフ協会主催 スタッフ 1 名・副理事長

	<p>■コロナウイルス感染防止のため公民館閉鎖期間中、八束公民館職員の皆様による記念館蔵書クリーニング作業にご協力いただいた</p> <p>■八束公民館 掲示板 中村元博士が遺した「慈しみあふれる言葉」紹介事業への協力</p>
<b>連携先</b>	八束公民館、松江北商工会、八束町内の自治会・松江観光協会など

### 3. 子ども教育事業

<b>事業の目的</b>	記念館で中村博士の「慈しみ」の心にふれさせてもらうことで、小中学生の情操教育に役立てる。また、高校生・大学生にも自習室を解放し、利用してもらう。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 5名
<b>事業内容</b>	<p>① 中学生職場体験 コロナウイルス感染防止のため中止</p> <p>② 自習室の開放 記念館の静かな環境で、勉強や読書を行ってもらえるよう、小・中・高・大学生に自習室を開放した。のべ 87 名利用。 その他閲覧室での自習利用多数</p> <p>③ さるすべりコーナーでの文化紹介本の設置 今年度は、コロナウイルス感染防止対策のため、配架書籍の数を制限し、貸し出しリストを配置することで安全に読んでいただけるように対応した。</p>

### 4. 旧八束教員住宅(通称「はじめハウス」)の利活用

<b>事業の目的</b>	中村元記念館および利用者の行う会議、研究、宿泊、イベントなどの用途に対して、旧八束教員住宅を提供し、活用することことで、周辺地域の活性化を促進する。
<b>実施期間・人数</b>	通年 職員 5名
<b>事業内容</b>	コロナウイルス感染防止のため利用なし

